

ことカフェ in はなみ

～地域交流と認知症についての啓発活動～



カフェを運営している町内の琴の浦高等特別支援学校の生徒さんと高齢者支援を行う施設職員とが連携して、「認知症カフェ」を開催しています。利用者さんやその家族、生徒さんや地域住民が交流しながら、地域での認知症や障がい者の理解を図っています。生徒のみなさんからは、手話を交えながらの歌の披露やレクリエーションがあり、笑顔や手拍子が絶えない、楽しいひと時となっています。また、地域の介護ボランティアの方などから琴浦体操（認知症予防体操）の指導をいただき、楽しみながら認知症予防に取り組んでいます。

取組みの目的・経緯

町地域包括支援センターのカフェ立ち上げ支援の協力を受け、地域交流と認知症、さらに障がい者の理解を広げることを目的として実施しています。琴の浦高等特別支援学校で運営している「ことカフェ」を高齢者や地域住民が集いやすい場所（グループホームはなみ）に出張カフェとして出店してもらい、入居者、家族、高校生、地域住民が会話を共有できる場「認知症カフェ」として、平成27年9月にオープンしました。

○活動データ

- ・実施頻度：月1回
- ・利用者数：延べ212人（令和元年度）
- ・取組みに関わる人員：15名
（職員8名、学生5名、先生2名）
- ・取組みに関わる主な経費：
材料費（コーヒー、ジュースなど）

取組みの成果や課題

カフェの参加者の中には、ホーム入居者のことを知っていても、「顔を見に行きたいけど、相手が自分のことがわからなかったらどうしよう。」と悩まれている方もおられました。ただ、認知症になったからといっても、馴染みの人のことは覚えておられることが多く、最初は思い出せなくてもヒントがあれば「ああ、久しぶりだな。元気かえ？どうしとった？」と思い出され、会話が花が咲きます。

このように認知症の方と直接ふれあうことで、地域の方にも認知症のことを正しく理解してもらう機会となっているように感じます。地域での認知症の理解を地道に広げ、「たとえ認知症になっても大丈夫！」と思ってもらえるような町づくりのお手伝いをしていきたいと思えます。

また、ことカフェに足を運んでもらうのをただ待っているだけではなく、自分たちも地域に出向いて行かなくてはならないと考えています。

活動者コメント

まだまだ課題や改善点がありますが、今後もグループホームはなみが地域における認知症ケアの拠点としての役割が担えるよう、私たち職員も地域の方と、より関わりやふれあいを持ち、他機関との連携をしっかりと図っていきたいと思います。そして地域支援へと繋げていくことができるよう今後も努めて参りたいと思います。

利用者の声

- ・学生さんや、知った人と一緒に話ができ嬉しいです。
- ・コーヒーがおいしいです。体操をしながら元気になりたいです。

社会福祉法人 赤碕福祉会

本部所在地／鳥取県東伯郡琴浦町赤碕 1061-3

電話番号／0858-55-2051

FAX 番号／0858-55-2445

法人HP／<http://www.hyakujiyuen.jp/>

他に実施している公益的取組み：

生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）、にっこにこ食堂（こども食堂）、ボランティア体験受入、専門学校実習生受入、大学生体験学習受入、中学生職場体験受入、他法人との相互研修実習生受入、利用者負担金減免、ふれあい交流会、地元保育園児との芋植え・芋掘り・芋会食交流会、地元子ども会との交流会、配食サービス、地域公民館活動（高齢者サロン）への参加、介護予防教室、百寿苑夏祭り、百寿苑敬老会、百寿苑文化祭、あかさき食堂（高齢者会食）、人権学習研修会

